

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童療育教室らふいん				公表日	令和7年 5月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1		・環境調整や模様変え等で活動スペースが確保できるよう工夫しております。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			・配置基準を遵守しています。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・絵付きのポスターで理解しやすく、子どもにとって分かりやすい。 ・「見える化」支援を実施。発達に合わせて分かりやすく支援している。	・生活空間は、子どもに分かりやすいよう工夫しております。 ・事業所は2Fにありますが、エレベーターで昇降可能です。室内はバリアフリーになっておりますが、トイレに段差があり必要に応じて改修を検討いたします。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1		・整理整頓を心がけ、安全な空間作りを工夫します。 ・室内・使用用具はアルコール消毒を行い、洗濯対応出来るものは定期的に洗濯を行い、心地よく過ごせる環境作りに努めております。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	・カーテンで間仕切りした場所で居場所の確保をしている。	・カーテンで間仕切りを行い、必要に応じて個別対応が可能な場所を設けております。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	・日々のミーティングで実行している。	・毎朝振り返りのミーティングを実施しており、支援・対応方法について話し合い、職員間での情報共有を図っています。今後もPDCAサイクルを意識しながら、より効果的な支援が行えるよう工夫を重ねてまいります。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・昨年の保護者会で要望のあった利用児童の活動の発信を行っている。	・週1でLINEにて活動中の様子(写真)を発信しております。今後とも活動報告を丁寧に行ってまいります。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		・日々のミーティングを活用し、意見等の把握に努め業務改善につなげております。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6	・外部評価がいない	・第三者による外部評価は行っておらず、今後検討してまいります。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1		・施設内研修及び外部研修を活用し、職員の資質向上に努めています。		
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1		・支援プログラムを作成し、ホームページにて公表しております。		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			・アセスメントやモニタリングを行いニーズや課題を分析し、支援計画を作成しております。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7					
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			・ミーティング等で児童発達支援計画を職員間で共有する機会を設け、計画に沿った支援が行われるよう努めています。		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		・アセスメントツールを活用し、適応行動の把握を行っております。		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		・児童発達支援ガイドラインに沿ってモニタリングを活用し、本人・家族・関係機関・職員を含め、ねらいや支援目標の項目を設定しています。		

× 援 の 提 供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・活動はミーティングで話し合いながら行っている。また、各活動ごとの役割分担も出来ている。	・活動プログラムをチームで立案し、行動計画を担当ごとに起案しております。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・学休日の外出支援や教室内の活動も同じものにならないよう、児童の利用日なども考慮しながら計画を立てている。	・プログラムが固定化しないよう、毎月話し合いを行い工夫しております。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1		・子どもの状況に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援を行っています。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			・毎朝ミーティングを行い、役割分担の確認を行っております。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	・次の日の朝ミーティングがあり、そこで支援の振り返りが出来ている。	・翌営業日にミーティングで振り返りや支援の共有を図っています。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	4		・必要に応じて連携が図れるよう体制を整えています。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2		・関係機関と情報共有の機会を設け、支援内容等の相互理解に努めています。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	4		・必要に応じて、支援内容等の情報共有と相互理解の機会を図っていきます。
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				・連絡会や研修に積極的に参加し、必要に応じて助言をいただけるような機会づくりに努めています。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		・地域の児童館や図書館、公園などを活用し、交流する機会を設けております。
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			・日々の送迎時やLINE等で子どもたちの様子や支援内容をお伝えしている。また、保護者からの要望や相談があった場合は毎日のミーティングで職員間で共有し共通理解を持てるよう努めています。
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4		・ペアレント・トレーニング等の研修の情報があれば保護者様等へ情報提供を行っていきます。
35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				・契約時や必要に応じて都度、説明を行っておりますが、ご不明点等ございましたらお気軽にお声掛け下さい。

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			・定期的に行っているアセスメントやモニタリングを活用し、お子様やご家族の意向を確認しております。必要時は都度の確認を行っています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		・交流会の実施をしている。	・父母会を開催しています。 また開催の際は周知を行っていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	・週一で活動中の児童の様子（写真等）を発信している。 ・活動報告をLINEにて写真送信している。	・活動予定を定期的に発行しており、活動報告を毎週LINEにて発信しております。令和7年度はHPやSNSを活用し発信予定です。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			・全職員に勧告し、個人情報は鍵付きの書庫に保管しております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1		・プログラムや活動の際は「絵」や「文字」を活用し情報伝達のための工夫を行っています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		・事業所の行事に地域住民を招待など実施出来ておらず、今後実施できるよう検討しています。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	5	・未訓練 ・マニュアルは作成されているが訓練が実施されていない。	・マニュアルは策定しておりますが、保護者への周知や訓練実施が不十分なため、周知・訓練実施に向けて計画しています。
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2		・業務継続計画（BCP）を策定しています。 ・非常災害の発生に備えた避難、救出、訓練について計画を策定しております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	2	・対象児童なし	・利用開始時の保護者に確認を行っております。現在、該当児童がおらず必要に応じて対応致します。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	・対象児童なし	・利用開始時の保護者に確認を行っております。現在、該当児童がおらず必要に応じて対応致します。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	3		・室内活動や戸外活動時の活動計画を作成し安全管理を行っています。 ・療育室には安全確保のためクッション性のあるマットを敷くなど対応しております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2		・活動計画の基づき、家族との連絡を行っています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			・支援中ヒヤリハットの場面があった場合は、対応職員にて記録しております。またミーティングもその情報共有の場となっており、再発防止や対策について話し合いを行っております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			・虐待防止研修機会を行っており、研修後に所感等を職員へ記入してもらい記録している。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1	・対象児童なし	・現在、対象児童はいませんが、必要に応じて対策を講じてまいります。